

平成27年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	神経幹細胞の分化運命を決める統合的メカニズムの解明
研究代表者	後藤 由季子（東京大学・大学院薬学系研究科・教授）
研究期間	平成27年度～平成31年度
審査結果の所見	<p>本研究は、応募者自身が発見した成体神経幹細胞起源細胞を中心に、神経幹細胞の発生・維持・分化メカニズムの統合的解明を目指すものである。提案の内容は、単一細胞解析等の最新のゲノミクス研究手法も取り入れ、分子レベルでの網羅的情報解析を行おうとする応募者ならではの意欲的なもので、国際的にもレベルが高い。</p> <p>一方、研究組織の構成について懸念する意見があったほか、初年度の研究経費における設備備品費の割合が過大であると判断されたため、必要となる研究経費を精査した上で基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。</p>